

## 取扱説明書

ケミフィット<sup>®</sup> C 1シリーズ取付方法

使用上の注意事項も合わせてご参照下さい。



## 1.準備

御使用になるチューブ及びフィッティングと、チューブカッター、フィッティング取付工具(スパナまたはモンキー)を御用意下さい。尚、チューブカッターについては弊社製品(TC01)をお奨めします。

**!** 注意 スパナを使用すると六角部が損傷する可能性がありますのでできるだけ御使用は避けて下さい。



## 2.チューブの切断

鋭利な刃物(チューブカッター等)を用意し、チューブを軸方向と垂直に切断して下さい。

**!** 注意 チューブは漏れを防ぐためにも、チューブ表面の汚れを拭き取って下さい。また、へこみ及び傷があるチューブは使用しないで下さい。

**!** 注意 切断面がつぶれたチューブや斜めに切られたチューブはフィッティング挿入時にシールを傷つけ、漏れの原因となります。



## 3.フィッティングの取付

テーパネジ部にシールテープを2~2.5回巻き付け、手で軽く締付けた後、モンキーで約2回増締して下さい。

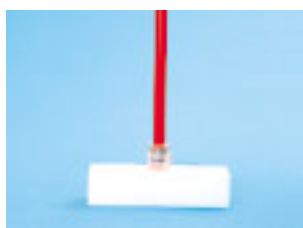
**!** 注意 合成樹脂製ですので、締め付け過ぎによる変形、破損にご注意下さい。



## 4.チューブの挿入

チューブにチューブ挿入長さ(寸法表に掲載)をマーキングした後、フィッティング本体に対して真直ぐに挿入して下さい。この時、マーキング位置が開放スリーブ端面にあることを確認して下さい。また、チューブを軽く手で引張り、チューブが抜けないことを確認して下さい。

**!** 注意 弊社以外のチューブを取付ける際は外径公差 $\pm 0.1\text{mm}$ 以内のものを御使用下さい。



## 5.チューブの取外し・再取付

まず、チューブをフィッティング本体の底部に着くまで押込み、次に開放スリーブ本体に両指で均等に押しつけたまま、チューブをねじらずに真直ぐに引き抜いて下さい。再取付の場合は、「4.チューブの挿入」からもう一度繰り返して下さい。

**!** 注意 チューブの着脱は5回を目度として下さい。

**!** 注意 チューブの外周面の傷によっては、損傷部を切落とし、再使用して下さい。

**!** 注意 チューブを取付けたり、取外したりする際は必ず無加圧状態にして下さい。

## 耐クリープ性低下による漏れ対策

樹脂継手は金属継手に比べ応力緩和現象が生じやすく、特に高温ではより顕著となります。従ってテーパねじ部から「にじみ漏れ」が徐々に発生することがありますが、増締をすることで漏れは解消することができます。ただし、増締できなくなった樹脂継手は新しいものと交換して御使用下さい。